

教育ファーム推進セミナー & 意見交換会概要

群馬農政事務所地域第二課

- 1 日 時 平成22年1月27日(水) 13時30分～15時45分
- 2 主 催 関東農政局群馬農政事務所 地域第二課
- 3 開催場所 太田市学習文化センター 第一研修室
群馬県太田市飯塚町1549-2
- 4 参加者 地域第二課管内の教育ファーム関係の市町村・JA・東毛酪農
15名
群馬農政事務所地域第二課
- 5 概 要 (1) 農政事務所担当職員から教育ファームについて説明
(2) 事例報告
綿打農業小学校 校長 中村氏
JA 邑楽館林 小沼氏

6 意見交換会の概要

(参加者からの教育ファームに対する感想)

酪農体験では、イベント的なもので終わってしまう。
そういう一貫性のものは難しい。
食育という話は聞いていました。
今までやっていたのは、一方通行の授業だった。
一連の活動が一つの輪になっている事が教育で重要。
今やっていることを他の地区に広げてやっていければ、本当は望ましいです。

【実践報告する中村氏】



【実践報告する小沼氏】

館林市の一部の地区では、約30年に亘って、全学年参加で田植え・稲刈り(収穫)をやっているが、学校と農家とPTAで成り立っている。特に農協が介在しなくても出来ています。

さつまいも植え、苗植え、じゃがいも植えなどは、現実に、どこの学校でも授業の一環で行っています。農協が介在しなくても現実に出来てるのでそれはそれで良いのではないかと思います。

教育ファームがNPOだとか公民館だとか様々な人達が連携して出来るということになると、全部の学校に広げられても農協は手一杯で、現状より1～2校の増加が限度です。

地域を広げて1つの活動として行っていくのは、農協と農家と学校にプラスアルファ



アが、何かなければ浸透させていくのは難しい。
この活動は体験することが重要なんだという事が分かりました。

【意見交換会の様子】

授業で農業を学ぶ時、教育的に1つの流れで位置付けられるのかなと思う。

中心的な農業者いわゆる認定農業者の方々の中で、子ども達への農業啓発に前向きな方々もたくさんおり、そういう方々が中心になって農業体験を行っている。ただ、教育ファームという意識で行っているかどうかはともかくとし、そのような事例があります。



年間を通じて、体系的に教育ファーム的なことが出来なくて、せいぜい田植えをして稲刈りをするくらいで終わっている。

教育委員会は大変な課題を突き付けられているのではないかと思う。

本当にボランティアとか色々な人たちの協力の下に、子ども達に学校が出来ない事をやって頂いている。

真剣に今回の様な機会を持ちながら考えていかなければならない。

(意見・要望等)

教育ファームをきちんとした形で推進していくという部分では難しい所がある。あるいは、行政からの働きかけにも限界がある。

大事な事業を継続していく為には、当然、人もお金も必要でボランティアの部分だけでは続いていかない。

これからの子ども達に、農業と言うのは大切なんだよというのを大人達が必死になって伝えていかないと最終的には、誰も農業を自分の一生涯の仕事としてやっていかないのではないかという危機感が今あります。

決して食とか農業というものに、お金をかけるのかというと、そうではありません。そこにジレンマがあります。

(質問・回答等)

(質問) 農水省から補助金を貰わないで市や地域からの財源で運営されていますが、その違いは何ですか。教育ファームをすることのメリット感は何ですか。

(回答：綿打農業小学校長 中村氏)

私達は、ボランティアで始め、資金は自腹でした。今では、太田市から支援がありますので、参加費無料で出来るという形になりました。

(回答：JA 邑楽館林 小沼氏)

教育ファームのメリットは、教育ファームにするために、頑張ってみよう

いうきっかけとなった事です。教育ファームという枠組みに乗せて、ある程度統一的にすることで、「画一的に出来るかな」、「実践していけるかな」、「現場は楽になるかな」という気持ちで始めましたが、実際は個々に違ってました。誰かが旗を振っても関係する人達みんなですることなので、そこが、うまくいかない限りは進んでいかないと思います。活動自体が活発になっていかなければ意味がない。誰かが一肌脱いで苦労していく。小学校や教育委員会を巻き込んでという取組、結局そういう事なのかな。補助金で取り組んで下さいという話をしてはなかなか進みません。やはり継続的に取組をするためには、複合的に地域で支えるような視点が必要だと思います。

(回答：農政事務所)

旧JA西邑楽が教育ファームで得たものは色々あります。まず教育ファームを取組むにあたり、各団体、NPO法人、学校関係などの学習会や講演会に毎回参加することで小沼さん自体の考え方が変わったこと。その影響で職員の意識も変わっていった事があげられます。

是非、補助金目当てという事ではなく、この教育ファームの意義を考えて頂き広めていければと考えています。

(質問)教育ファームモデル実証事業に採択されると、補助を受けられるのか。

(回答：農政事務所)

モデル事業は、平成20～21年度の事業となっており、本年度限りとなっています。また、食の安全・安心確保交付金も今のところ詳しい内容につきましては未定となっていますので、分かり次第ご連絡します。